

令和7年11月18日

群馬県農業技術センター

土壌・病虫害部発生予察係（病虫害防除所）

TEL 0270-62-1059 FAX 0270-20-8016

令和7年度 病虫害発生予察特殊報 第1号

病虫害名 : *Xanthomonas cucurbitae* によるニガウリ褐斑症状

群馬県において、ウリ類の病原細菌である *Xanthomonas cucurbitae* (ザントモナス・ククルビタエ) によるニガウリの病害が初めて確認されました。

＊ 特殊報とは、新たな病虫害を発見した場合及び重要な病虫害の発消長に特異な現象が認められた場合に発表する情報です。

1 特殊報の内容

- (1) 対象病虫害名 : *Xanthomonas cucurbitae* によるニガウリ褐斑症状
- (2) 学 名 : *Xanthomonas cucurbitae* (ex Bryan 1926) Vauterin, Hoste, Kersters & Swings 1995
- (3) 発 生 植 物 : ニガウリ
- (4) 発 生 地 域 : 県東部地域

2 発生概況

(1) 発生確認の経過

令和7年7月に県東部地域の露地ニガウリほ場において、葉に斑点症状が確認されました(写真1、2)。

現地ほ場で採取した葉から農林水産省横浜植物防疫所が分離した細菌について、同所で病原性、形態観察、細菌学的性質の確認及び遺伝解析を行ったところ、同年9月に *Xanthomonas cucurbitae* と同定され、10月に褐斑症状の病原性が確認されました。

(2) 国内の発生状況

本細菌による褐斑症状は、国内でカボチャ、スイカ、メロン、キュウリ、ユウガオにおいて報告されています¹⁾。

一方、国内のニガウリにおける病害の報告については、現在まで確認されていません。

3 病徴

- (1) 葉に黄色の小斑点が生じ、次第に褐色の病斑となります(写真1)。
- (2) 病斑は葉脈に囲まれた角型となり、病斑部分は破れそうなほど薄くなります。
- (3) 病徴が進行すると葉や葉縁が褐変・枯死するなどの症状が現れ(写真2)、株全体に病徴が広がることもあります(写真3)。

4 防除対策

ウリ科植物（キュウリ²⁾、ユウガオ³⁾）では、次の（１）～（５）の防除対策が示されています。

- （１） 無病の種子の使用を推奨します^{2, 3)}。
- （２） 育苗時には、無病土を用いましょう²⁾。
- （３） 本症状が発生した土壤に、葉が触れると発病する可能性があります。株元をマルチで被覆するなどの対策をしましょう³⁾。
- （４） 被害茎葉はすぐにほ場外に持ち出し適切に処分しましょう²⁾。
- （５） 低温多湿条件で多発します。施設栽培では施設内の湿度が高くなならないよう加温しましょう。露地栽培においても湿度が高くなならないよう管理しましょう^{2, 3)}。
- （６） 現在、ニガウリの本病害に対する登録農薬はないため、上記（１）～（５）を参考に耕種的防除により発病を防ぎましょう。



写真1 葉の斑点症状



写真2 病徴が進行し縁が枯れた葉



写真3 症状が進行した株

引用

- 1) 瀧川ら(1987) 関西病害虫研究会報(29) 11-15
- 2) 高知農業ネット 高知県 病害虫・生理障害台帳 キュウリ褐斑細菌病
<https://www.nogyo.tosa.pref.kochi.lg.jp/info/dtl.php?ID=3653>
- 3) 木嶋(1980) 栃木農試研報(26) 93-104